

# 「OODA LOOP(ウーダ・ループ)」輪読会

担 当：原田 勉教授

スケジュール：全8回 10月～11月 毎週金曜日

10/7、14、21、28、11/4、11、18、25

時 間：19:30～21:00

実施方法：Zoomによるオンライン

対 象：関心がある方ならどなたでも

定員・最少催行人数：定員20名 最少催行人数5名

**\*最少数に満たない場合は開催を見送ることがございますので、ご了承ください**

参加費：現代経営学研究所賛助会員：8,000円 非会員：16,000円 \*税込み

**\*課題図書はご自身で購入願います。開講確定しましたら早めにご準備ください**

申込方法：

現代経営学研究所WEB掲載の申込事項をメール本文に明示して、件名を「OODA LOOP輪読会  
参加希望」として、事務局 (bi@riam.jp)宛てにお申し込みください

申込締切：2022年9月26日(月) **\*定員に達し次第、締め切ります**

課題図書：『OODA LOOP(ウーダ・ループ)』東洋経済新報社、2019年

著 者：チェット・リチャーズ(著)、原田 勉(訳・解説)

内容紹介：

**マネジメントでやってはいけない最大の間違いとは？**

あなたが管理職になったとき、業務はかなり変わったのではないのでしょうか？  
個々の案件は断片化され、それらに割くことのできる時間はそんなに多くありません。  
多様多様な製品が混流した流れ作業のようなものです。このような状況のなかでやってはいけない間違いが3つあります。

最大の間違いは、自らのマネジメント業務にPDCAサイクルを回そうとすることです。  
マネジメントとは、混沌に秩序を与える業務です。それは非定型業務であり、事前に計画することはできません。組織内外からの様々な要求、圧力に対処していくことが求められます。

それはPDCAサイクルというよりも、事態を把握し(Observe)、方向性を示し(Orient)、素早く実行していくことが求められる。つまり、マネジメントとはOODAループを回していくことに他なりません。

**OODAループ運用のポイントを明らかにする**

この輪読会では、OODAループをマネジメントとして最初に論じた古典的名著である「OODA LOOP」をテキストとして毎週、各章について学んでいきます。テキストに書かれた内容を理解するだけでなく、できれば何か新しい論点、議題を提案していただき、それをメンバーで議論していくことを中心にしたいと思えます。また、自らの体験をもとに問題提起をしていただき、意見交換ができればと希望しています。目的は、実際にOODAループを運用していく際の問題点や課題、ボトルネックなどを明らかにし、それらにどのように対処すべきなのかについて議論していくことにあります。

OODAループを業務や組織に実際に導入したいと真摯に考えている方々のご参加をお待ちしています。

お問い合わせ：現代経営学研究所 e-mail: bi@riam.jp

☎ 078-805-1623(平日10:00～16:00)

\*お問い合わせ・お申し込みいただき、1週間経過しても担当者より返信がない場合は、メール不達の場合がございますので、お手数ですが事務局までお電話ください

